

2022年度JSSR-DB変更点②

JSSR-DB 2022 変更点②

- 主たる術式に同一の術式が複数入力された場合の展開
- 骨切り併用・椎体形成術併用の展開
- JSSR追加術式の「術式小分類・病名」の展開

- 主たる術式に同一の術式が複数入力された場合の展開

改修後

例) 頸髄症

C3-6 後側方固定術

K142 2: 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術 (多椎間又は多椎弓の場合を含む。) (後方又は後側方固定)

腰部脊柱管狭窄症

L4-5 後側方固定術

K142 2: 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術 (多椎間又は多椎弓の場合を含む。) (後方又は後側方固定)

改修前

一つしか展開
されない

二つとも展開

骨切り併用・椎体形成術併用の展開

改修後

主たる術式に「K142 2」「K142-2 1」「K142 3」「K142 4」が含まれていた場合に「骨切り併用」「椎体形成術併用」を展開される。現行の仕様では「K142 2」「K142-2 1」「K142 3」「K142 4」のうち複数が含まれていた場合でも骨切り併用・椎体形成術併用は1つのみしか展開されない。

改修前

一手術につき
一つしか展開されない

主たる術式毎に
展開

主たる術式毎に
展開

追加術式の「術式小分類・病名」の展開

改修前

2 JSSR-DB

術式小分類・病名

合併症

術中合併症

有無* 定義 なし あり

術後合併症 (術後30日以内に発生した合併症)

【新設手術】

- K142 - 8 顕微鏡下腰部脊柱管拡大減圧術

【日本脊椎脊髄病学会(JSSR-DB)より要望した追加術式】

- K149-2 後頭蓋窩減圧術
- K179 髄液漏閉鎖術
- K183 脊髄硬膜切開術
- K183-2 空洞・くも膜下腔シャント術 (脊髄空洞症に対するもの)
- K184 減圧脊髄切開術
- K185 脊髄切截術
- K188-2 硬膜外腔癒着剥離術
- K189 脊髄ドレナージ術
- K190 1 脊髄刺激装置植込術 (脊髄刺激電極を留置した場合)
- K190 2 脊髄刺激装置植込術 (ジェネレーターを留置した場合)
- K190-2 脊髄刺激装置交換術

改修後

2 JSSR-DB

術式小分類・病名

手術の種別* 定義 初回手術 予定二期手術 再手術/追加手術

術式追加項目* なし 術中術後自己血回収術 脊髄誘発電位測定
 画像等手術支援 その他

椎間板摘出術 (前方摘出術)

病名* 定義

大項目
--

中項目
--

小項目
--

合併症

術中合併症

これが展開